

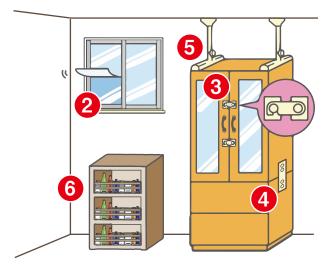
4月 14日に発生した熊本地震は、前震と本震が震度7を記録する異例の事態で、広い範囲で甚大な被害=写真上・下=が発生し、いまもなお余震が続いています。

近畿圏でも30年以内に南海トラフを震源にマグニチュード8~9クラスの東南海、南海地震が発生すると予想されています。自然に恵まれた日本列島はそれだけ災害も多く、これからは大雨による災害も懸念されます。いざというときの心構えは大丈夫ですか。

固 危機管理室



巨大地震への対策



建物の倒壊により人命にかかわる大きな被害が発生し、また家具の転倒・落下などでケガをするだけでなく、 逃げ道をふさがれて避難することが困難になります。

●耐震診断・耐震改修

❷ガラス飛散防止フィルム

ガラスが割れても危険なガラス片の飛散を低減します。

❸開き戸ストッパー

吊り戸棚や食器棚からの物の落下を防止します。

40家具連結器具

分離した家具類を固定し、転倒を防止します。

6家具転倒防止器具

家具と天井の間に取り付け、転倒を防止します。 ※市では、高齢者のみの世帯・障害者がいる世帯に無料で 取り付けるサービスを行っています。P21を見てください。

固 危機管理室

6ビン類落下防止具

扉のない家具から、物の落下を防止します。

地震が起きても慌でずに行動を =

日ごろから地震発生時の行動をイメージしましょう。

屋内にいたら

家の中

- ○まず、テーブルの 下にもぐり込む
- ○無理して火を消 そうとしない
- ○はだしで歩き回 らない



エレベーターの中

- ○大きな揺れを感じたら、 すべての階のボタンを押 し、止まった階で降りる
- ○閉じ込められたときは 非常ボタンやインター ホンで救助を求める



集合住宅

- ○ドアや窓を開け て逃げ道を確 保する
- ○避難にはエレ ベーターを使わ ない

屋外にいたら

路上

- ○ブロック塀や自動販 売機などから離れる
- ○垂れ下がった電線に 注意する
- 〇空き地や近くの公園 に避難する

電車内

- ○将棋倒しに注意 し、つり革など につかまる
- ○座席では前かが

みになって、かばんなどで頭を保護する

○勝手に降車せず、落ち着いて指示に従う

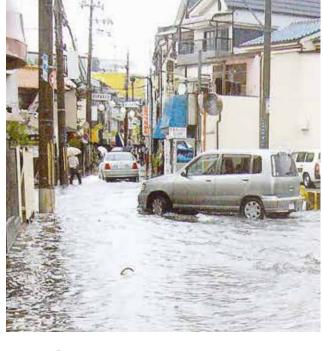
運転中

- ○ゆっくりスピードを落とし、左側に停車する
- ○揺れがおさまるまで車

外に出ず、カーラジオで情報を収集する ○避難するときはドアロックをせず

○歴無するとさはドブロックをせく に、キーをつけたままにする







これからの季節は大雨対策が特に必要に なります。市内でも平成24年8月、集中豪 雨で中心部が浸水し被害が出ました=写真。 気象情報に注意し、早めの避難を心がけま しょう。



難するほうが安全を確 い 2 階以上の屋内に避 い 2 階以上の屋内に避 が 1 であって避難が だ上まであって避難所 問や水深がおとなのひでに浸水が始まり、夜でに浸水が始まり、夜でに浸水が始まり、夜でに浸水が始まり、夜でに浸水が始まり、夜でに浸水が始まり、夜の避難勧告発表時にすい。

るときは、 避難に時間がかか な場所にいるとき 水辺や地下などの えきれていなくて (難勧告や避難指示 早めに自主

危険を感じたら かに避難を

雨の強さと降り方(1時間当たり)

10ミリ以上 20ミリ未満



20ミリ以上~ 30ミリ未満



50ミリ未満

30ミリ以上~

■長く続くときは注意

やや強い雨。雨の音で話し声がよく聞 こえず、地面一面に水たまりができる。

■小規模のがけ崩れが始まる

強い雨。傘をさしていてもぬれるほど で、側溝や下水、小さな川があふれる。

■危険地帯では避難の準備が必要

激しい雨。バケツをひっくり返したよ うに降り、道路が川のようになる。山 崩れ・がけ崩れが起きやすくなる。都市 部では下水管から水があふれる。

注意報・警報の発表基準



1 時間雨量……30ミリ 1 時间附皇 3 時間雨量……40ミリ

以上になると予想されるとき

報

1 時間雨量……45ミリ - 3時間雨量······70ミリ

以上になると予想されるとき

80ミリ

■厳重な警戒が必要

猛烈な雨。大規模な災害 が発生するおそれが強い。

50ミリ以上 80ミリ未満



■土石流が起こりやすくなる

非常に激しい雨。滝のようにゴ-ゴーと降る。都市部では地下室や地 下街に雨水が流れ込むときがある。 マンホールから水が噴き出す。



情觀収集

ホームページなどで 天気と雨の情報

市の気象情報などをパソコンや携 帯電話で見ることができます。

市ホームページトップページ 「天気と雨の情報」からアクセス

◎災害時にはテレビやラジオ、インターネットを活用し、早めに正確な情報収集を行いましょう。

り 防災行政無線 電話応答サービス

小学校などに設置している屋外ス ピーカーで放送した防災情報の内容 が電話で確認できます。

◆ 利用電話番号 ◆

☎824 · 2037

※①音声案内に従って操作してください②つながりにくいときは、時間をおいてかけ直してください③通話料がかかります。

おおさか防災ネット

気象・地震やライフライン情報、 災害発生時の被害・避難情報などの 防災情報を提供しています。

防災情報のメール配信も行っていま

す。**右の QR コード**を 携帯電話などで読み 取って登録してくだ さい。



※登録料は無料です (通信料がかかります)。

QRコード

突然の災害にも

慌てないために

いつ起きるかわからない災害時に備えて、必要なものを玄関などの持ち出しやすいところに用意しておきましょう。

備えておきたい非常持ち出し品

食料 (1週間分が目安)

食料は調理が簡単または不要なもの、飲料水は1人1日30



防災活動用品

懐中電灯、携帯ラジ オ、軍手、防寒用ジャ ケットなど

救急用品

ばんそうこう、包帯、 持病薬(医師と相 談)、胃腸薬、解熱剤 など

貴重品

現金、預金通帳、印鑑、個人が特定できる免許証など

衣類など

下着、靴下、生理用品、オムツなど

家庭での食料備蓄

大規模な広域災害では、行政の支援にも限りがあるため、家庭での1週間分の備蓄をお願いします(下の表のとおり)。日常的に非常食を食べて、食べたら買い足すという行為を繰り返し、常に新しい非常食を備蓄する方法もあります。

おとな1人1週間分の備蓄量の目安

飲料水	水 ※1日少なくとも3ℓ	21 ℓ
主食	米(もち・無菌包装米飯を含めても可)	2kg
その他の主食	カップラーメン (うどん・そば・パスタ)、 シリアル類など	5食分
レトルト食品	カレー、牛丼、パスタソース、ハンバー グなど	5食分
	焼き鳥、さば、コンビーフなど	5缶
缶詰	コーン、トマト、たけのこなど	5缶
	もも、みかん、パイナップルなど	1缶

最寄りの避難所を確認してください

災害時避難所

番号	災害時避難所	所在地	
1	東小学校	太秦元町2番1号	
2	第一中学校	高宮新町 32番1号	
3	市民会館	秦町 41 番1号	
4	東コミュニティセンター	高宮新町 32番2号	
(5)	中央小学校	初町 1 番 25 号	
6	寝屋川高等学校	本町 15 番 64 号	
7	府立大学工業高等専門学校	幸町 26 番 12 号	
8	池田小学校	池田二丁目1番7号	
9	桜小学校	池田新町3番23号	
10	池の里市民交流センター	池田西町 24番5号	
11)	第二中学校	池田西町 27番7号	
12	総合センター	池田西町 28番 22号	
13	摂南大学	池田中町 17番8号	
14)	北小学校	寿町 57 番 29 号	
15)	西北コミュニティセンター	松屋町 20番 30号	
16	田井小学校	田井西町9番1号	
17)	第三中学校	田井町 17番3号	H
18	明和小学校	打上高塚町4番1号	
19	第四中学校	打上新町4番1号	
20	旧いきいき文化センター	明和一丁目 13 番 23 号	-
21)	梅が丘小学校	梅が丘二丁目 10番1号	-
22	神田小学校	東神田町 27番1号	L
23	西南コミュニティセンター	上神田一丁目30番1号	L
24	和光小学校	黒原橘町 30 番 1 号	
25	第五中学校	上神田二丁目8番1号	
26	第五小学校	成田西町2番3号	L
27)	第六中学校	成田町3番6号	
28	東北コミュニティセンター	成田町3番3号	L
29	大阪聖母女学院	美井町 18番 10号	
30	同志社香里高等学校	三井南町 15番1号	

番号	災害時避難所	所在地
31)	国松緑丘小学校	国松町 47番1号
32	南小学校	下木田町 16番 15号
33	南コミュニティセンター	下木田町 16番 50号
34)	市民体育館	下木田町 16番 16号
35)	第七中学校	讃良東町1番1号
36	堀溝小学校	堀溝三丁目 10 番 8 号
37)	西小学校	高柳三丁目1番27号
38	点野小学校	点野五丁目 26番1号
39	第八中学校	点野五丁目 28番1号
40	西コミュニティセンター	葛原二丁目7番1号
41)	西寝屋川高等学校	葛原二丁目 19番1号
(42)	成美小学校	錦町 23 番 45 号
43	エスポアール	錦町 21 番3号
44	啓明小学校	高柳六丁目3番1号
45	第九中学校	高柳四丁目 16番 16号
46	三井小学校	三井が丘三丁目7番3号
47)	第十中学校	成田南町 20番7号
48	(旧) 明徳小学校	明徳一丁目1番1号
49	宇谷小学校	宇谷町8番1号
50	北かわち皐が丘高等学校	寝屋北町1番1号
51	すばる・北斗福祉作業所 (療育・自立センター)	大谷町7番1号
52	木屋小学校	豊里町 19番 22号
53	石津小学校	石津元町8番1号
54	友呂岐中学校	日新町2番25号
55	木田小学校	木田元宮一丁目 17番1号
56	中木田中学校	中木田町7番1号
6 7	大阪電気通信大学	初町 18番8号
58	楠根小学校	楠根南町 21 番 1 号
59	アルカスホール	早子町 12番 21号

余震とエコノミークラス症候群

熊本地震では、最初に震度7を観測した4月14日の前震以降、震度1以上の地震 は1,400回以上にのぼっています。

多くの人が、長びく余震から逃れて、車中や避難所で寝泊まりする状況が続いているなか、「エコノミークラス症候群」による死亡例が報告されています。狭い場所

で長時間、同じ姿勢でいると、下肢が圧迫されてうっ血状態になり、生じた血栓が肺に詰まって死に至ることがあります。

対策としては、数時間おきの歩行や弾性ストッキング(薬局などで購入できます)の着用などの予防が効果的です。

